

# けんこう静岡

第154号

令和5年  
(2023年)  
7月1日(土)

季刊 1部50円 年200円  
(送料税込)

発行所  
公益財団法人 静岡県予防医学協会

http://www.shsa.net/

|            |                         |                |
|------------|-------------------------|----------------|
| (静岡事務所)    | 〒421-1292 静岡市葵区建徳1-3-43 | (054) 278-7716 |
| (藤枝健診センター) | 〒426-0053 藤枝市善左衛門2-11-5 | (054) 636-6461 |
| (総合健診センター) | 〒426-8638 藤枝市善左衛門2-19-8 | (054) 636-6460 |
| (沼津事務所)    | 〒410-0011 沼津市岡宮1210-1   | (055) 921-1934 |
| (浜松健診センター) | 〒435-0006 浜松市東区下石田951   | (053) 422-7800 |

印刷 池田屋印刷株式会社

## はじめに

令和2年初頭から始まった新型コロナウイルス感染症(以下、コロナと略します)による世界的な危機は、静岡県内においても令和2年2月に県内で最初のコロナ陽性者が確認された第1波に始まり、同年夏の飲食店クラスターで始まった第2波、死亡者が急増した同年冬の第3波、翌令和3年春の初めての変異株アルファ株による第4波、同年夏の中年層の重症者が増加したデルタ株の第5波、そして、令和4年以降を席巻中のオミクロン株による新春の第6波、夏の第7波、秋から冬の第8波と、私たちの生活に3年以上の長期間にわたり大きな影響を及ぼし続けました。

しかし、ようやく今年5月から、世界保健機関が、コロナに関する「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態」宣言を終了し、国内でも感染症法上、コロナは季節性インフルエンザと同じ5類感染症の扱いとなり、日常生活はコロナ以前に徐々に戻りつつあります。政府、県、市町からお願ひした感染対策の実施やコロナワクチンのたび重なる接種にご協力いただいた県民の皆さまに、心より感謝申し上げます。今後も、高齢者や基礎疾患のある方へコロナをうつさない配慮をどうかよろしく願ひします。

## 感染症はコロナだけじゃない

コロナという感染症に悩まされたこの3年間、他の様々な感染症はコロナの陰に隠れておとなしくしていたわけではありません。国内でこれまで落ちていた梅毒は、性生活の多様化のためか過去にないレベルの感染者数増加が続いています。また、コロナに対する入国制限とマスク等感染対策で3年間ほとんど流行がなかったインフルエンザも、令和4年末から流行が再開しました。乳幼児のRSウイルス感染症も令和2年は流行が全くありませんでしたが、令和3年には大きな流行が起こりました。

国内でこれまで報告がなかったサル痘(M痘)が海外から持ち込まれ、天然痘ワクチンを接種していない40歳代以下を中心に令和5年から国内で増加中です。令和4年に小児の原因不明の



静岡県健康福祉部

感染症管理センター長

後 藤 幹 生

# ふじのくに感染症管理センターが三島市で始動しました

多様な感染症の情報・学習・連携のセンターづくり



急性肝炎が報告され、これまで注目されていなかったアデノ随伴ウイルス2の関与が疑われています。一方、県内では、抗生物質が効きにくい細菌(薬剤耐性菌)で、保菌者が増加しているものもあります。マダニに野山で刺されて起こる重症熱性血小板減少症候群は、令和3年に初めて本県でも患者が確認されました。

このように、古くからある感染症が急に大きな流行を起こしたり、新しい感染症が突然現れて拡大したりといった、次なる感染症の脅威が始まるリスクは、社会生活の変化と世界のグローバル化の急速な進展によって増大しています。

## 令和5年度設置「ふじのくに感染症管理センター」

「ふじのくに感染症管理センター」が担う3つの柱

### (1) 感染症情報基盤構築

ICTを活用して県内外の重要な感染症情報を集約、分析、提供

### (2) 感染症対応人材養成

医療、福祉、教育、職場、家庭で適切な感染対策ができる人材養成

### (3) 感染症危機時司令塔

次のパンデミックに県の医療体制と感染対策の司令塔機能発揮

ナに次にやってくる感染症による災害級の危機に備えるとともに、四季折々の様々な感染症にも適切に対応するため、今年度4月から、県健康福祉部感染症対策課を拡大強化して、三島市谷田の県総合健康センターの建物内に「ふじのくに感染症管理センター」(以下、感管センターと略します)を設置しました。

1つ目は、県内から世界で流行中の感染症の情報を集約・分析し、県民の皆さまに身近なものとして提供することです。お住まいの地域で、今、どのような感染症がどの年齢層にどんな規模で流行しているのか、その感染症はどんな症状でどんな予防策や治療法があるのかという情報を感管センターのウェブサイトで簡潔にお示しします。将来は、その感染症の始まりやピーク、収束の時期や流行規模を台風のように予測する感染症流行予報を目指します。

2つ目は、医療施設、福祉施設、学校、職場、家庭などで現場に合った適切な感染対策ができる人材づくりです。コロナの感染対策の研修用に、県病院協会や県看護協会等、医療関係者の方々に作成していただいた研修・講演の動画や資料、マニュアル等のライブラリーを感管センターのサイト内に構築し、自己学習や施設内研修に役立てていただきます。特に高齢者施設の従事者の方々には、ニーズに応じた、リアルな講演会、実地研修、eラーニングなどプログラムを充実させていきます。一般県民の方々向けには、基本的な感染予防策や流行間近な感染症への個別対策を動画等で解説していきます。

3つ目は、今回のコロナで起こった災害級の医療ひっ迫を今後はきたさないように、発熱外来や患者入院病床など医療体制を平時から準備していきます。そして、次の新しいパンデミック型感染症が上陸した際には、感管センターが本県の司令塔となって医療機関や市町と連携して迅速かつ適切に医療提供体制を確保します。県民の皆さまにはその新感染症に対する感染対策をわかりやすく説明します。新しい病原体のゲノム解析は、コロナと同じく近隣の国立遺伝学研究所と連携して速やかに実施します。感管センター内の検査室はPCR検査センター、体育館はワクチン接種会場や入院待機ステーションとして機能することを想定しています。

## おわりに

ふじのくに感染症管理センターは、静岡県がコロナの教訓を強く踏まえて設置した新しい行政機関です。コロナのような世界規模の新感染症の発生は、今後も十年前後ごとに繰り返すおそれがあります。今回コロナで私たちが被った苦難を次世代の県民が再び経験せずにすむように、これから感管センターは頑張っ取り組んで参りますので、ご指導・ご意見をどうぞよろしくお願い致します。

## ーあなたに必要な検査をー

ヘルスポートでは人間ドックの基本項目にプラスして様々なオプション検査を選択できます。年齢、性別、気になる症状や身体の部位からお客様に合った検査項目を自由にカスタマイズされてみてはいかがでしょうか。

## 脳梗塞・心筋梗塞発症リスク検査

予防のための  
血液オプション  
検査

LOX-index®  
[ロックス・インデックス]

簡単な  
採血検査

動脈硬化は自覚症状がないまま進行し、ある日突然脳梗塞や心筋梗塞を発症します。生活習慣を改善し、早期に予防することが大切です。

◆当日受診可能です◆ 検査費用: 15,400円(税込)

このような方に特におすすめの検査です

- ☐ 脳梗塞・心筋梗塞の予防をしたい方
  - ☐ 肥満気味、高血圧、糖尿病などの持病がある
  - ☐ 脂っこい/塩辛い食べ物をよく食べ、お酒をよく飲む
  - ☐ たばこを吸っている、もしくは吸っていた
  - ☐ 定期的な運動をしていない
  - ☐ 生活習慣が乱れていると感じている
- 生活習慣を改善し、早期に予防することが大切!

## 総合健診センター ヘルスポート

〒426-8638 藤枝市善左衛門 2-19-8

0120-39-6460

TEL 054-636-6460

FAX 054-636-6465